

## ベトナムで活躍する青年海外協力隊を訪ねて

# 「郡山市民の翼：ベトナム・ハノイ研修旅行」

「郡山市民の翼：ベトナム・ハノイ研修旅行」は2010年10月21日～25日まで行われました。「福島県青年海外協力隊を支援する会」の須佐喜夫会長、荒 柁文事務局長、柴崎 茂理事は、ベトナムで活動する廣田陽介隊員（福島市出身）の任地であるホアビン省を訪ねました。JICA二本松の進路相談カウンセラーでもある柴崎 茂さんによる隊員激励と活動視察の訪問記をご紹介します。



ホアビン省アオケイン集落の幼稚園児たち  
視察団に興味津々の様子

支援する任に当たっていました。2人っ子政策が奨められているベトナムでは、少ない子どもを大切に育て、母親の就労を助けるために、幼児教育施設の充実と衛生管理（トイレ、井戸の設置）は急務のようでした。私たちが行くと、人なつこい園児たちが昼寝せずに起きだし、驚いていました。須佐会長はじめ私



同省マイ集落にある建設中の幼稚園  
背後には石灰岩の山がそびえたつ

ハノイ近郊に派遣されている福島県出身者は、現在廣田陽介隊員（村落開発普及員）1人のみとのことです。ハノイを抜けて南下する途中、車とバイク（3～4人乗りもある）がひしめき合い、ものすごい接近にヒヤヒヤする状況の中、一時間ほど過ぎてホアビン省に入りかけたところで、廣田隊員と落ち合いました。巨大資本が集中し、発展を続ける都市部と、インフラ整備の遅れた農村部のギャップの中で、廣田隊員の活動フィールドは、水田や湿地の間の細い道を進んだ先にあるアオケイン集落、そしてマイ集落のそれぞれの幼稚園でした。

廣田隊員は今回、ホアビン省の計画投資局の一員として村落の要望を調査し、必要性を見極め、施設の改善・整備を語りつくせない協力隊員としての苦勞、孤独、誇り等を想像するとそのどれだけを知り得たのか、今回の訪問はあわただしく過ぎていきました。気負いなく淡々と現地に溶け込み、日焼けした顔で任務を語る廣田隊員には、同一県民として心から労いの言葉をもっとかけるべきであったと別れた後に少し後悔する思いが残りました。



左から荒事務局長、須佐会長、  
柴崎カウンセラー、廣田隊員

私たち一同が廣田隊員から聞くトイレや生活の話は、日本の忘れかけた昔を思い出させる内容が多く、なつかしい気がしました。コミュニンと呼ばれる地域の共同体に、集会所を作ることも住民からの要望が高いものの一つのように

### ◆ 中学生の部

受賞名	学校名	氏名	作品タイトル
JICA 二本松 所長賞	白河市立白河南中学校	瀨川 歩佳	思い出のランドセル
	郡山市立緑ヶ丘中学校	増子 光希	一杯のコーヒーから愛をこめて
佳作	白河市立白河中央中学校	小川原 奏	「Mr.Lopez への手紙」
	いわき市立平第二中学校	杉浦 有咲	音楽は笑顔の種
	福島市立清水中学校	高橋 誠果	私たちにできること
	福島市立福島第三中学校	幕田 明枝	私たちにできること
ふくしま 青年 海外協力隊 の会長賞	福島市立北信中学校	菊池 菜那	お腹の膨れた子供達へ
	郡山市立郡山第二中学校	佐々木帆南	この子を救えるのは私かもしれない
	いわき市立草野中学校	佐藤 隆秀	貧困な地域にて
	三春町立要田中学校	橋本 健人	JICA での学習で思ったこと
	いわき市立上遠野中学校	古川 浩	地球のためにできること

(氏名 五十音順)

### ◆ 中学生の部

受賞名	学校名	受賞名	学校名
学校賞	福島市立福島第一中学校	学校賞	郡山市立郡山第一中学校
	福島市立岳陽中学校		郡山市立郡山第三中学校
	福島市立北信中学校		三春町立要田中学校
	桜の聖母学院中学校		白河市立白河南中学校
	二本松市立二本松第一中学校		会津若松市立第五中学校
	二本松市立安達中学校		中島村立中島中学校



「自分で調べて感じたことを素直に書きました。初めての受賞で驚きましたが、とてもうれしいです。」

◀白河市立白河南中学校  
1年 瀨川 歩佳さん



「とても光栄に思います。日ごろの生活の中で、身近なことから国際協力をおこなっていきたいです。」

郡山市立緑ヶ丘中学校▶  
3年 増子 光希さん



# 異文化の眼

[第10回]

## ～車と犬が変えたふくしまの生活～

英語 語学講師 ジョン・ウィリアムズ (イギリス出身)

福島県二本松市に転勤になる前は、東京の広尾で働いていました。都会の中心部からこのような小さな町に来たので、最初の数年間は新しい環境に慣れるのに大変でした。ここに引っ越してきて一番の利点は、職場と家を往復する長い通勤がなくなったことです。

福島での生活の質が大きく変わったのは、車を買って、犬を飼いだしたことです。日本とイギリスは同じく道路の左側を走るなどよく似た交通規則があり、日本の運転免許証を取得するのは比較的簡単でした。免許証と車を手に入れ、自分だけの交通手段を持つことで、今まで知らなかった福島の生活が突然開けました。まず初めに、趣味の水泳を始めました。市民プールでは、ライフガード、スタッフ、ほかの水泳者など全員が親切で歓迎してくれます。私は決まった時間に行くことが多いので、顔見知りになるようになりました。かれらはいつも話すのを楽しみにしています。私が水泳用のゴーグルを忘れたときには、親切にも予備のゴーグルを貸してくれました。また車を持つようになってから、冬のスキーなど1年中福島の美しい場所へ旅することが

できます。

二つ目の大きな変化は、犬を飼ったことです。犬を連れていると、地元の人たちがよりフレンドリーで声をかけやすいことに気がきました。年齢や背景に関係なく、挨拶してくれます。また同じように犬の散歩をしている人たちにも会うようになり、ときには少し立ち話をすることもあります。夏に猪苗代湖へ行き、犬を泳がせてやるのが、私の大好きな娯楽の一つです。

最後に、日本人でも外国人でも、福島(の田舎)に来ることを考えているすべての人に向けて、何かしらの交通手段(車、バイク、自転車など)を手に入れることをおすすめします。なぜならそれはここでの生活をより楽しく、興味あるものに大きく変えてくれるからです。

### イギリス連邦 Data

面積：24.3万平方キロメートル

人口：6,140万人(2008年)

首都：ロンドン

言語：英語

通貨：ポンド  
(外務省HPより抜粋引用)



故郷のブリストルは西部に位置する港湾都市



ウェールズ地方にあるペンブロークシャー海岸



# 福島県在住 OB OG 体験記

[第10回]



## ～ホンジュラス人と共に 行った母子保健向上活動～

平成20年度第2次隊 ホンジュラス  
助産師 佐藤 美絵 (福島市在住)

私は中米『ホンジュラス』の、地方の保健所で母子保健向上のために妊婦さんや伝統的産婆さんと言われる人への知識普及活動を行ってきました。

ホンジュラスでは日本のように妊娠や育児に関する情報が簡単に手に入るというわけではありません。そのため中学生で妊娠したり、自宅で危険な出産をしてしまう人もいます。そこで、正しい情報を知ってもらうためパパママ教室を看護師とともに行いました。

教室開催では、一緒に行く看護師がほとんど準備をしないことや、当日担当者が来なくて代わりの者が急ぎょ行うことになるなど、一緒にいてハラハラすることも沢山

ありました。しかし、定期的実施していくことで、看護師から開催についての提案がなされるようになったり、自らが妊婦さんたちへ参加を呼びかけるなど少しずつ変化がみられ、帰国の際には「これからも教室を続けていくよ」と言ってくれました。

今回、様々な経験やホンジュラス人との交流を通じて多くのことを学び、継続して行うことの大切さを改めて実感することができました。



▲ グイノベ保健所でパパママ教室をスタッフと実施している様子



◀ パパママ教室に参加した妊婦さんたちと一緒に後列右から2番目が佐藤さん

# 福島県出身のJICAボランティア 平成22年度第4次隊

二本松青年海外協力隊訓練所では146名、長野県にある駒ヶ根訓練所では175名のボランティアが1月7日（金）に派遣前訓練を開始しました。

※紹介欄にあるJOCVとは「青年海外協力隊」、SVとは「シニア海外ボランティア」のことです。

## ■ 二本松訓練所

### JOCV 満江 祐介

出身地：会津若松市  
派遣予定国：ウガンダ  
職種：看護師



訓練所に入所し、厳しくも充実した訓練を個性豊かな仲間とともに

学ぶことができ、とてもうれしく思っています。家族や友人達、今まで多くの人に支えてもらった私が、少しでも他人を支えることができればと思っています。



### SV 大嶋 憲輝

出身地：郡山市  
派遣予定国：インドネシア  
指導科目：放送



3年前、同じ訓練所でモンゴルへ行くための訓練を受けていました。

そして今度はインドネシアへ行くための訓練を受けています。部屋で語学学習をしていると3年前の自分を思い出し、何か不思議な感じがします。しかし、新しい見知らぬ国と人を思うときの、高ぶる気持ちは良いものです。もう少し頑張ってみようと思わせてくれます。

### JOCV 佐藤 京子

出身地：福島市  
派遣予定国：カンボジア  
職種：日本語教師



カンボジアでは、首都から約360km離れた地域で日本語を教えます。訓練所のスケジュールはかなりハードですが、カンボジアの人々の日本語能力向上に貢献できるように、同期JOCV、SVと共に精一杯がんばりたいと思います。

## ■ 駒ヶ根訓練所

### JOCV 有我 心作

出身地：須賀川市  
派遣予定国：コロンビア  
職種：コンピュータ技術



途上国の現状を直に肌で体感し、国際協力の意義と、これからの自分の人生について真剣に考えたいと思い、協力隊に応募しました。訓練所では、様々な経歴や志を持った仲間たちと切磋琢磨し、語学はもちろん、自分磨きにも努めたいと思います。そして、現地の方にとって有意義な活動ができるよう努めて参ります。

## ■ 地球ひろば

### SV 高山 尚之

出身地：福島市  
派遣予定国：エクアドル  
指導科目：小学校教諭



※語学訓練免除の方は期間を短縮し、訓練所ではなく地球ひろばで研修が行われます。

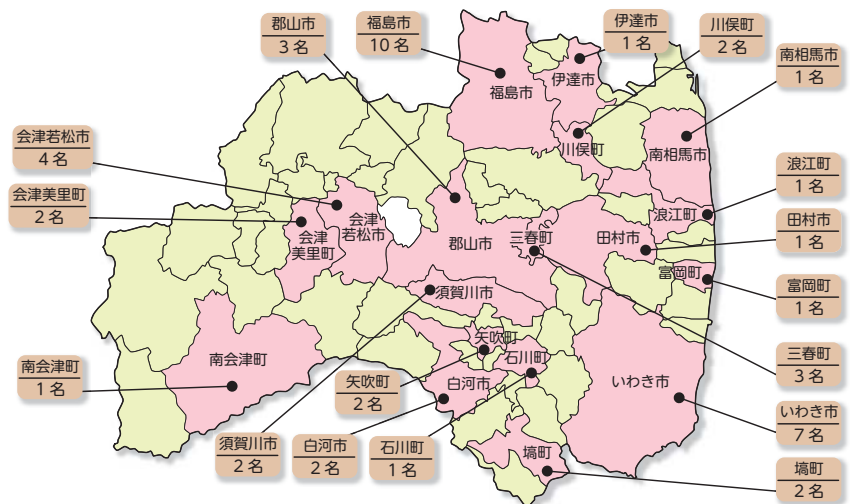


教育機関配属として、「現地教員の指導力向上及び教育内容の質的改善」を柱とした支援活動にあたります。前回のアルゼンチンでの経験を生かし、任地のニーズに即した、実り多い2年間となるよう努力してまいります。「子どもの輝く瞳」それは国境を越えた、地上に暮らすすべての人々の「夢、そして未来」

## 福島県出身 JICA ボランティア 2011年1月7日現在（派遣中）

福島県出身 JICA ボランティア人数  
合計派遣中 46名 / 累計 555名

青年海外協力隊員数			
派遣中	38名	累計	517名
シニア海外ボランティア数			
派遣中	8名	累計	25名
日系社会青年ボランティア数			
派遣中	0名	累計	9名
日系社会シニアボランティア数			
派遣中	0名	累計	4名



## 3月～4月の イベント情報

3月11日(金) 平成22年度第4次隊 派遣前訓練 修了式  
 3月14日(月)～18日(金) 平成22年度第4次隊 出身地自治体 赴任前表敬訪問

4月1日(金)～5月16日(月) 平成23年度 JICAボランティア春募集  
 4月7日(木) 平成23年度第1次隊 派遣前訓練 入所式  
 4月上旬 平成23年度 教師海外研修 募集開始予定

### 青年海外協力隊 & シニア海外ボランティア

平成23年度 春募集開始！県内4ヶ所で募集説明会を行います。

開催地	開催日	時間	説明会場
福島	4月2日(土)	14:00～16:00	コラッセふくしま 小会議室 402
いわき	4月10日(日)	14:00～16:00	いわき市文化センター 中会議室 1
郡山	4月17日(日)	14:00～16:00	ビッグアイ 第1会議室
二本松	4月23日(土)	15:00～17:00	JICA 二本松 A 会議室

※上記会場以外に、4月中に会津若松市内で別途募集説明会を行う予定です。詳細はJICA二本松のHPをご覧ください。

世界も、自分も、  
変えるシゴト。

募集中!  
受付 4/1～5/16

青年海外協力隊  
シニア海外ボランティア

石岡会社・資料請求  
JICAボランティア募集窓口 > 03-3406-9900 JICA ボランティア 検索

説明会情報・詳しい情報 > www.jica.go.jp

### ◆◆◆訓練所で体験しよう！◆◆◆ ～ JICA ボランティア1日体験 参加者募集～

開催日	平成23年4月23日(土)
時間	9:30～15:00
問い合わせ	下記訓練所 募集・広報担当まで

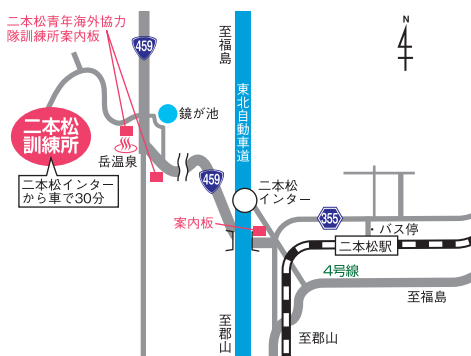
※募集説明会、1日体験の日程や会場情報につきましては、今後変更する場合がございます。確定情報は3月上旬以降にJICA二本松ホームページに掲載いたしますので、そちらでご確認ください。



JICA 二本松 (2月撮影)

読者の皆様へ 福島県内の小・中・高・大学等、会社、団体で行っている国際協力活動を紙面でご紹介します。情報をお寄せください。

### JICA二本松へのアクセス



### 独立行政法人国際協力機構 二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558  
 福島県二本松市永田字長坂4-2 TEL: 0243-24-3200 FAX: 0243-24-3214

募集・広報担当 E-mail: [jicanjv@jica.go.jp](mailto:jicanjv@jica.go.jp) JICA 二本松 検索

◆本誌、バックナンバーがご覧になれます...  
 URL <http://www.jica.go.jp/branch/ntc/jimusho/newsletter.html>

※皆様からのご意見等をお待ちしております。

本誌に関わるご意見・情報の連絡先  
 国際協力推進員 清海陽子 財団法人福島県国際交流協会 JICA デスク

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階  
 TEL: 024-524-1315 FAX: 024-521-8308  
 Email: [jicadpd-desk-fukushimaken@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-fukushimaken@jica.go.jp)

